令和4年度　学校評価について

甲府市立東中学校

1．評価方法について

・ 評価項目

本校では、自らの教育活動（学校運営、学習面、生活面、教科外指導、保護者・地域・小中の連携・感染症対策）について、組織的継続的に改善を図っていくため、２３の評価項目についてアンケートを行い、評価しています。

学校教育目標の「生命の尊さ」「確かな学力」については、具体的な評価項目で重点化し、目標達成に向けて継続的な取り組みを行っています。東中学校区小中連携では、平成２３年度より小中共通指導方針とした「あいさつ、学習、思いやり」についても、継続して評価項目に入れ、取り組みを進めていくこととしています。令和2年度より感染症対策について、令和3年度よりICT機器の利活用についての評価項目を追加しています。

・ 調査対象

「全教職員」による自己評価及び「全校生徒」「３学年保護者」を対象としたアンケートを実施していいます。同じ項目について、教職員、生徒、保護者の３者がそれぞれ評価することにより、より信頼度の高い評価となることを期待しています。また、保護者については、３年間学校を見てきたという観点等、教育活動の適切な評価者として３学年保護者に絞っています。

・回答方法

グーグルフォームを用いて調査を行っています。
①＝「そう思う」　②＝「どちらかというとそう思う」　③＝「あまりそう思わない」
④＝「全くそう思わない」　⑤＝「判断できない」

2．アンケート集計結果

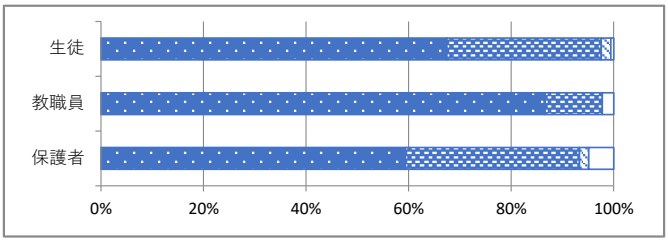
①～⑤　数値はすべて％（パーセント）
①そう思う（４点）　②どちらかというとそう思う（３点）　③あまり思わない（２点）　④全く思わない（１点）として、評価項目の平均ポイントを算出しています。

Ⅰ　学校経営等に関わる内容について

1	生徒	あなたは、学校・学年・学級目標を大事に生活している。
	教職員	学校教育目標は、地域・学校・生徒の実態から考えて適切なものである。
	保護者	学校教育目標は、地域・学校・生徒の実態から考えて適切なものである。

結果		①	②	③	④	⑤	ﾎﾟｲﾝﾄ
	生徒	67	30	2	0	1	3.66
	教職員	87	11	0	0	2	3.89
	保護者	59	34	2	0	5	3.43

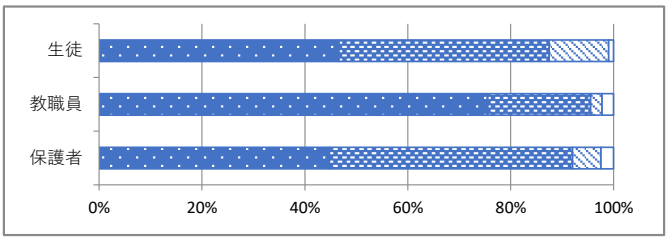
そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



2	生徒	あなたは、東中学校全体の様子に満足している。
	教職員	学校の教育活動・学校運営は適切な取り組みが行われている。
	保護者	学校教育活動・学校運営は全体的に満足できる状態である。

結果		①	②	③	④	⑤	ﾎﾟｲﾝﾄ
	生徒	47	41	12	0	1	3.35
	教職員	76	20	2	0	2	3.75
	保護者	45	47	6	0	2	3.40

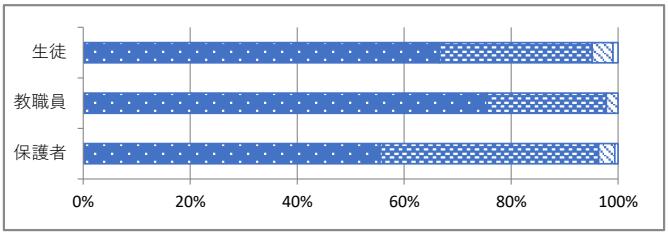
そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



3	生徒	あなたは、安心して学校生活を送ることができている。
	教職員	学校は、生徒が安心して生活できるように安全管理に配慮している。
	保護者	学校は、お子さんが安心して生活できるように安全管理に配慮している。

結果		①	②	③	④	⑤	ポイント
	生徒	67	29	4	0	1	3.63
	教職員	76	22	2	0	0	3.73
	保護者	55	41	3	0	1	3.53

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

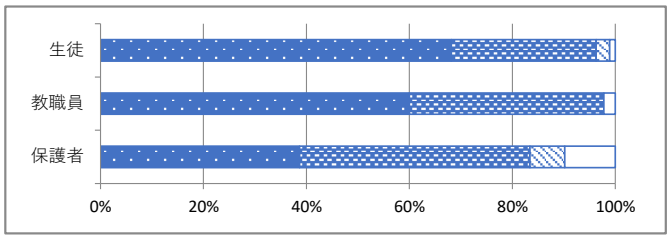


Ⅱ　教科指導等，学習面に関わる内容について

4	生徒	先生は、授業をわかりやすくていねいに教えてくれる。
	教職員	知識・技能の定着を図るため指導内容の精選や授業の改善工夫に努めている。
	保護者	先生は指導内容を工夫し、ていねいな授業をしてくれている。

結果		①	②	③	④	⑤	ポイント
	生徒	68	28	3	0	1	3.66
	教職員	60	38	0	0	2	3.61
	保護者	39	45	7	0	10	3.35

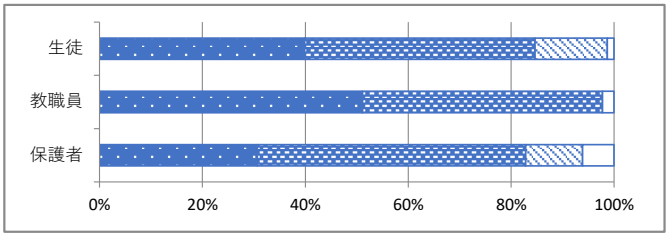
そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



5	生徒	あなたは授業中、じっくり考えたり、考えを発表したりしている。
	教職員	生徒の思考力・判断力・表現力の育成を心がけている。
	保護者	授業等によってお子さんの思考力・判断力・表現力が育成されている。

結果		①	②	③	④	⑤	ポイント
	生徒	40	45	14	0	1	3.26
	教職員	51	47	0	0	2	3.52
	保護者	31	52	11	0	6	3.21

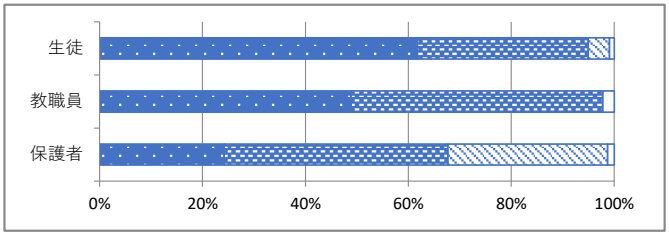
そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



6	生徒	あなたは、自ら進んで授業に参加しようとしている。
	教職員	生徒が主体的に学習に取り組むように工夫して指導している。
	保護者	お子さんは主体的に学習しようとしている。

結果		①	②	③	④	⑤	ポイント
	生徒	62	33	4	0	1	3.58
	教職員	49	49	0	0	2	3.50
	保護者	24	43	31	0	1	2.93

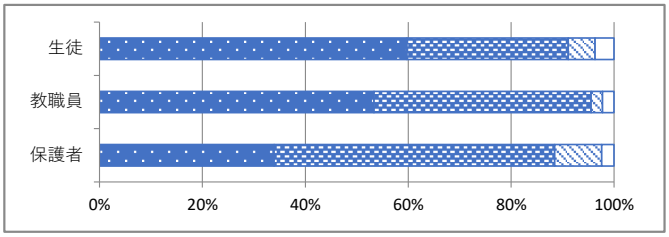
そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



7	生徒	先生は、学んだことが身に付いているかを適切に評価してくれる。
	教職員	学習における努力や学習の結果を適切に評価している。
	保護者	先生は学習における努力や学習の結果を適切に評価してくれている。

結果		①	②	③	④	⑤	ポイント
	生徒	60	31	5	0	4	3.57
	教職員	53	42	2	0	2	3.52
	保護者	34	55	9	0	2	3.25

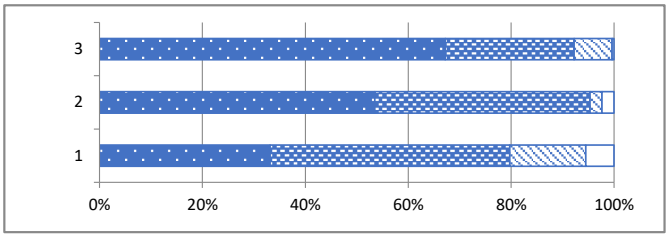
そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



8	生徒	授業や行事などでクロームブックなどのICT機器が活用されている。
	教職員	授業や行事でICTを活用するよう努めている。
	保護者	授業や行事などでクロームブックなどのICT機器が活用されている。

結果		①	②	③	④	⑤	ポイント
	生徒	67	25	7	0	0	3.60
	教職員	53	42	2	0	2	3.52
	保護者	33	47	15	0	6	3.19

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

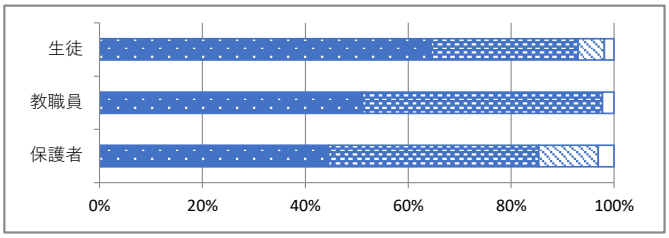


Ⅲ　生活面に関わる内容について

9	生徒	あなたは、学校生活を楽しく送っている。
	教職員	生徒がのびのびと学び、充実した学校生活を送れるように支援している。
	保護者	お子さんは学校生活が楽しいと言っている。

結果		①	②	③	④	⑤	ポイント
	生徒	64	29	5	0	2	3.61
	教職員	51	47	0	0	2	3.52
	保護者	45	41	12	0	3	3.34

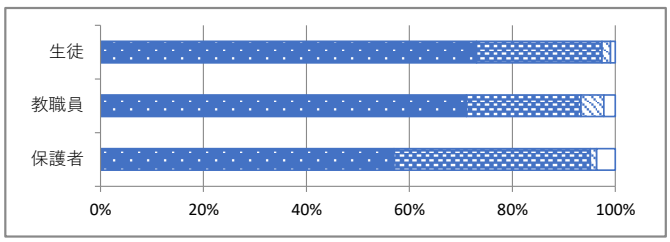
そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



10	生徒	あなたは、集団生活の決まりやマナー（時間・服装・言葉遣い等）を守っている。
	教職員	生徒が集団生活に必要な決まりやマナーを守るよう指導している。
	保護者	お子さんは集団生活に必要な決まりやマナーを守っている。

結果		①	②	③	④	⑤	ポイント
	生徒	73	24	2	0	1	3.72
	教職員	71	22	4	0	2	3.68
	保護者	57	38	1	0	4	3.58

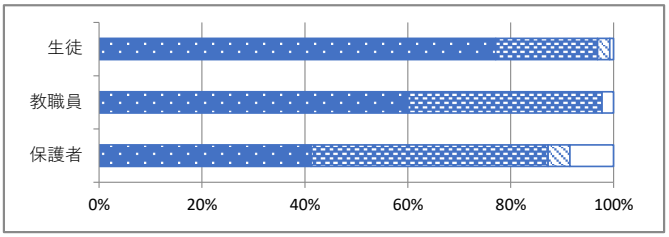
そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



11	生徒	学校では、命の大切さ、人としての生き方など学んでいる。
	教職員	命の大切さ、人間の生き方等の心の教育や、進路指導などを適切に行っている。
	保護者	学校では、命の大切さ、人間の生き方、進路指導などが適切に行われている。

結果		①	②	③	④	⑤	ﾎﾟｲﾝﾄ
	生徒	77	20	2	0	1	3.75
	教職員	60	38	0	0	2	3.61
	保護者	41	46	4	0	8	3.40

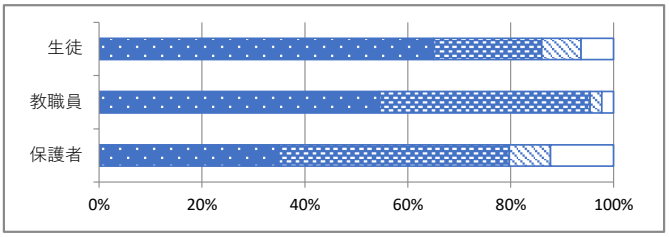
そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



12	生徒	先生は、あなたの悩みや困っていることに耳を傾け対応してくれる。
	教職員	生徒とのコミュニケーションを密にし、きめ細やかな生徒指導に努めている。
	保護者	先生はお子さんの不安や悩みに、親身になって相談にのっている。

結果		①	②	③	④	⑤	ﾎﾟｲﾝﾄ
	生徒	65	21	8	0	6	3.61
	教職員	55	41	2	0	2	3.53
	保護者	35	45	8	0	12	3.31

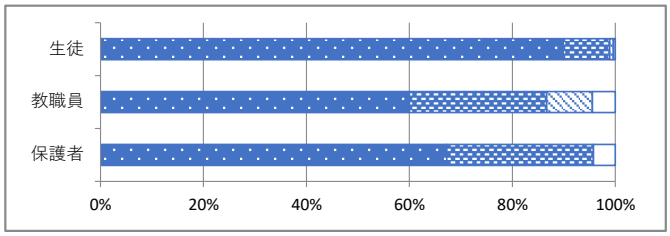
そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



13	生徒	あなたは、交通ルールを守って登下校している。
	教職員	交通ルールを守り、安全に登下校できるよう指導している。
	保護者	お子さんは交通ルールを守り、安全に登下校している。

結果		①	②	③	④	⑤	ﾎﾟｲﾝﾄ
	生徒	90	9	1	0	0	3.89
	教職員	60	27	9	0	4	3.53
	保護者	67	28	0	0	4	3.70

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

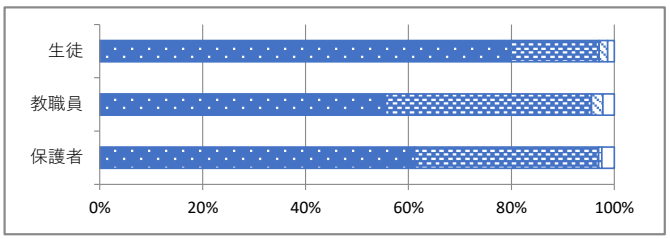


Ⅳ　教科外の教育活動について

14	生徒	あなたは、友達と仲良く助け合って生活している。
	教職員	生徒が友達と仲良く助け合って生活できる学校・学級づくりに努めている。
	保護者	お子さんは友達と仲良く助け合って生活している。

結果		①	②	③	④	⑤	ﾎﾟｲﾝﾄ
	生徒	80	17	2	0	1	3.79
	教職員	56	40	2	0	2	3.55
	保護者	61	36	1	0	2	3.62

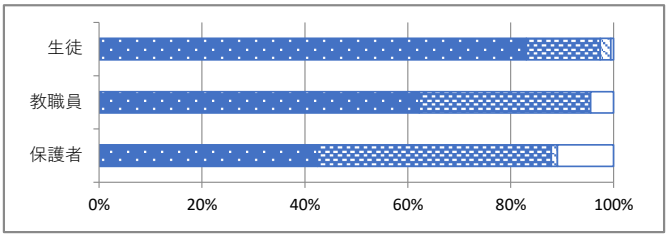
そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



15	生徒	あなたは、学級の係活動や生徒会活動、委員会活動に取り組んでいる。
	教職員	生徒会活動や委員会活動が活発に機能するように努めている。
	保護者	生徒会活動や委員会活動は活発に機能している。

結果		①	②	③	④	⑤	ﾎﾟｲﾝﾄ
	生徒	83	14	2	0	1	3.81
	教職員	62	33	0	0	4	3.65
	保護者	42	45	1	0	11	3.46

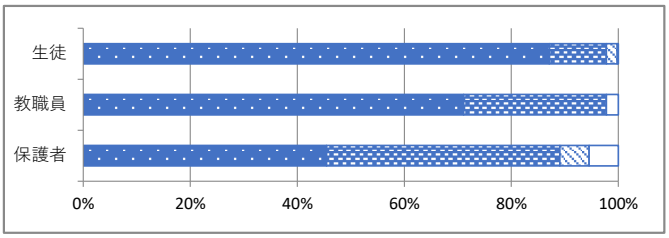
そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



16	生徒	学校行事（修学旅行・林間学校・東輝祭　等）は楽しい。
	教職員	学校行事（校外行事・東輝祭等）が充実するよう、指導に努めている。
	保護者	学校行事（校外行事・東輝祭等）は、充実している。

結果		①	②	③	④	⑤	ﾎﾟｲﾝﾄ
	生徒	87	11	2	0	0	3.85
	教職員	71	27	0	0	2	3.73
	保護者	45	44	5	0	5	3.42

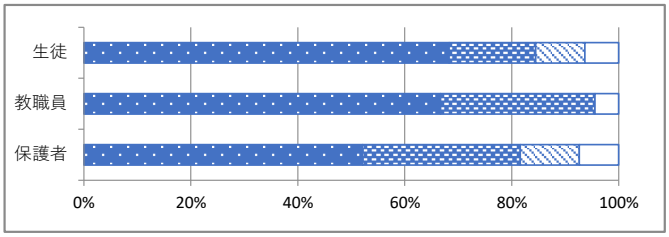
そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



17	生徒	あなたが所属する部活動は楽しく充実している。（部活をしている人のみ）
	教職員	充実した部活動になるように努めている。
	保護者	部活動は、お子さんにとって充実している。

結果		①	②	③	④	⑤	ﾎﾟｲﾝﾄ
	生徒	68	16	9	0	6	3.63
	教職員	67	29	0	0	4	3.70
	保護者	52	29	11	0	7	3.44

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

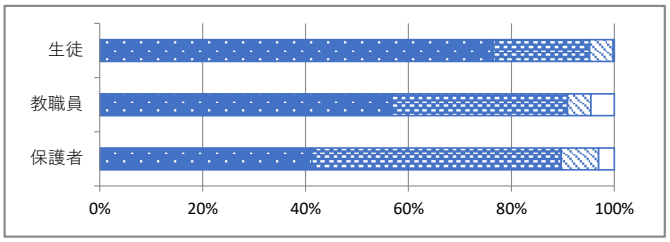


Ⅴ　家庭・地域・小中学校の連携について

18	生徒	あなたは、学校・学年・学級通信や学校からの連絡等を家の人に見せている。
	教職員	学校・学年・学級通信やホームページで学校の様子をわかりやすく伝えている。
	保護者	学校・学年・学級通信やホームページ等で学校の様子を知ることができる。

結果		①	②	③	④	⑤	ﾎﾟｲﾝﾄ
	生徒	76	19	5	0	0	3.72
	教職員	57	34	5	0	5	3.55
	保護者	41	48	7	0	3	3.35

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

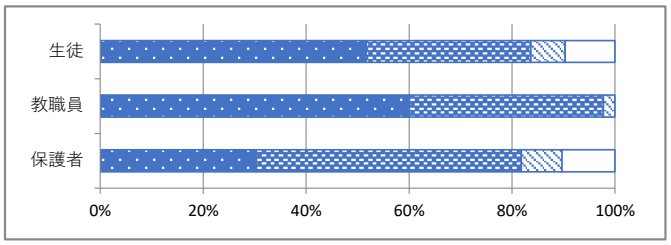


19	生徒	学校は、家の人の願いや地域のことをよくわかっている。
	教職員	学校は親や地域の人たちの願いや思いを受け止める努力をしている。
	保護者	学校は親や地域の人たちの願いや思いを受け止める努力をしている。

結果

	①	②	③	④	⑤	ﾎﾟｲﾝﾄ
生徒	52	32	7	0	10	3.50
教職員	60	38	2	0	0	3.58
保護者	30	52	8	0	10	3.25

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

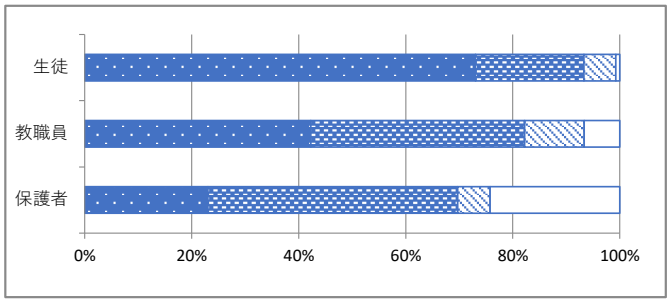


20	生徒	中学校での生活は、小学校からの積み重ねが大切だと思う。
	教職員	機会を見つけ、小学校との接続や連携を考えたりしている。
	保護者	東中学区は、小学校との連携がとれていると感じる。

結果

	①	②	③	④	⑤	ﾎﾟｲﾝﾄ
生徒	73	20	6	0	1	3.68
教職員	42	40	11	0	7	3.33
保護者	23	47	6	0	24	3.22

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

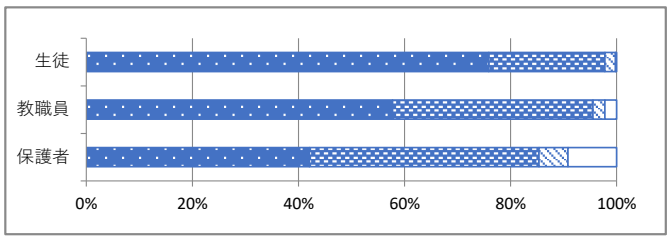


21	生徒	あなたは、「あいさつ、学習、思いやり」を意識して生活している。
	教職員	小中連携指導目標「あいさつ、学習、思いやり」をいろいろな場面で指導している。
	保護者	小中連携指導目標「あいさつ、学習、思いやり」は東中学区の実態に合っている。

結果

	①	②	③	④	⑤	ﾎﾟｲﾝﾄ
生徒	76	22	2	0	0	3.74
教職員	58	38	2	0	2	3.57
保護者	42	43	5	0	9	3.40

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



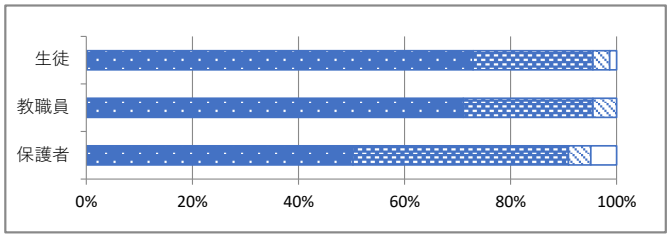
Ⅵ　感染症対策について

22	生徒	新型コロナウイルスの感染を防ぐため、学校では十分な対策を行っていると思う。
	教職員	学校では新型コロナウイルス感染防止対策のための十分な取り組みを行っている。
	保護者	学校は十分な新型コロナウイルスの感染防止対策を行っていると思う。

結果

	①	②	③	④	⑤	ﾎﾟｲﾝﾄ
生徒	73	23	3	0	1	3.71
教職員	71	24	4	0	0	3.67
保護者	50	41	4	0	5	3.48

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

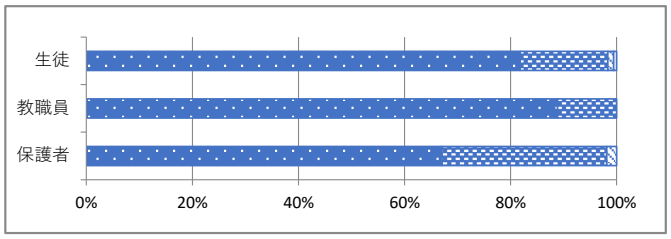


23	生徒	自分自身は新型コロナウイルス感染防止のための行動（生活）を心がけた。
	教職員	自分自身は新型コロナウイルス感染防止のための行動（生活）を心がけた。
	保護者	家庭では新型コロナウイルス感染防止のための行動（生活）を心がけた。

結果

	①	②	③	④	⑤	ﾎﾟｲﾝﾄ
生徒	82	17	1	0	1	3.81
教職員	89	11	0	0	0	3.89
保護者	67	31	2	0	0	3.65

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



３．考察と今後の改善方策

Ⅰ．学校経営等に関わる内容について

東中学校では、以下のような学校教育目標を掲げ、教育活動を行っています。

「豊かな人間性をもつ生徒の育成」

・生命の尊さを知って生活しよう。

・確かな学力を進んで身につけよう。

・たくましい体づくりに努めよう。

・正しい判断力を持って行動しよう。

調査結果を見ると、3つの項目とも「①そう思う」「②どちらかというとそう思う」と回答している割合が比較的高く、職員・保護者・生徒ともに、学校経営全般については、大きな課題はないと感じていることがわかります。本校の学校教育目標は「豊かな人間性」について第一に掲げられています。授業や学校行事、生徒会活動等のすべての学校での活動で、豊かな人間性をはぐくむことができるよう、教育課程を常に見直し、子どもたちや社会の変化に柔軟に対応しながら保護者・地域の皆様と協働しながら教育活動を推進していくことが大切だと考えています。

項目３の「学校の安全管理」については、近年の自然災害の増加や、新型感染症の蔓延等に対応するために、今後一層力を入れていくべき内容だと考えます。本校は生徒数が多く、緊急時の避難に時間がかかることが課題となっています。今年度は生徒への予告なしの避難訓練を実施し、避難訓練の実効性を高める取り組みを行いました。今後、停電を想定した訓練や、昼休み等生徒が教室にいない時間帯での訓練を行うなどの工夫を行い、緊急時の避難体制に万全を期していきたいと考えます。また、本校は学区が広く、遠方より登校している生徒が多いという実態があります。震度5弱以上の地震発生時には、生徒を学校へ留め置き保護者に引き取りをお願いすることになっています。そのために引き取り訓練を行っていますが、保護者の訓練への参加率の向上について、さらによい方法はないかについて考えていきます。

Ⅱ．教科指導等、学習面に関わる内容について

本校は、全体として子どもたちが落ち着いて授業に参加し、教師の話を聞く、ノートをきちんととるなどの授業規律が確立されています。その中で課題だと考えられるのが　項目５「思考力・表現力・判断力の育成」についてです。教師の「育成の心がけ」のポイントが高いにも関わらず、生徒、保護者のスコアが伸び悩んでいます。今後、じっくりと考え、適切に判断し、考えを伝えていく力を高める教育活動を一層重視していく必要があります。また、項目６「主体的に学習に取り組む」についても保護者のポイントが低く、2.93となっており、保護者は子どもに対して、さらに自ら進んで学習に取り組むことを期待していることがわかります。

令和3年度から実施されている新しい学習指導要領では、子供たちが身につけるべき資質・能力の要素を3つの柱で整理しています。

①知識及び技能→何を理解しているか、何ができるか

②思考力，判断力，表現力等→理解していること・できることをどう使うか

③学びに向かう力，人間性等→どのように社会・世界と関わり，よりよい人生を送るか

これに伴って、通信表の観点別評価も「知識・技能」「思考力・表現力・判断力」「主体的に学習に取り組む態度」と３つに整理されています。予測困難な社会を生き抜く力を育成するためには、上記の3つの資質・能力をまんべんなく育成する必要があります。

本校では校内研究の研究主題に「生き生きと学習に取り組み、確かな学力を身に付けた生徒の育成」、副題に「ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を通じて」を掲げ、生徒の学力向上に取り組んでいます。特に考え議論する授業づくりに力を入れ、生徒自身が主体的に資料を的確に読み取り、周囲と話し合って異なる意見に耳を傾けることによって「多角的・多面的」に考え、深い学びへつなげていく工夫をしています。具体的にはホワイトボードやクロームブックを活用した話し合い活動や、生徒が「どうしてだろう」と考えたくなるような発問の工夫を行っています。また、ICTの活用については、全教科、全教師が活用することを目標に研修を行い、各種動画・静止画による教材や資料の提示（NHK for School等）、課題の提示・提出、話し合い活動での活用、ｅライブラリ（学習支援サービス）の利用などを進めています。今後、一人一台端末を文房具として有効活用し、子どもたちの多様な学びに対応し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるよう指導改善を図っていきたいと考えます。また、学習内容の定着には、家庭学習の充実が不可欠です。自主学習ノートの活用の推進を柱に、保護者と同一歩調で取り組んでいくことが大切だと考えます。

Ⅲ．生活面に関わる内容について

項目10「集団生活に必要な決まりやマナー」について、全体的に大変高いポイントになっています。実際の生徒の生活の様子を見ても、服装・挨拶・時間などの基本的な生活習慣が大変高いレベルで確立されており、規則正しい学校生活を送ることができています。学校での指導だけでなく、保護者・地域との共通理解のもと、長い年月を経て確立された東中学校の宝の一つだと考えられます。集団として規律が確保され、落ち着いた学校生活を送ることは、授業の質の向上やいじめなどの未然防止にもつながるといわれています。

一方、項目9「学校生活が楽しいか」については、「③あまり思わない」「④全く思わない」と答えた生徒が8％、保護者では22％に上り、保護者の期待値に届いていない項目の一つです。楽しい学校生活を送り、明日もまた行きたくなる学校づくりに向けて、まずわかる授業を行うこと、次に感染症対策を行いながら人と人とが触れ合う活動や体験的な活動を確保することなどを実践し、楽しく安心して通える学校づくりを推進したいと考えます。

また、項目12「先生は悩みや困っていることに耳を傾け対応してくれる」については、生徒・保護者共に8％が「③あまり思わない」と回答しています。学級担任、学年職員、学年外職員、スクールカウンセラーなど、子どもと関わる関係者全員でチームとして子どもたちに寄り添い、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・自主的に成長や発達する過程を支えていきたいと考えています。また、教師の働き方改革を一層進め、子どもと触れ合う時間の確保に努めていきたいと考えます。

項目13「登下校での交通ルール」については、生徒の回答が高いポイントとなっています。一方、登下校中の交通事故が発生したり、自転車の乗り方に関する地域からの指摘も少なからずあったりするのが実態です。本校は自転車通学をしている生徒が大変多く、交通安全に関する指導に力を入れる必要があります。教師・保護者・地域で協働しながらの登下校指導の実施について検討していくことも必要だと考えています。

Ⅳ．教科外の教育活動について

項目14「友達と仲良く助け合って生活している」、項目15「生徒会活動や委員会活動」、項目16「学校行事は楽しい」の3項目について、特に生徒のポイントが高く、80％以上の生徒が「①そう思う」と回答しています。体験活動が活発で友達との関わりを大切にしていることは、東中学校が誇れるポイントの一つだと考えます。本校の学校教育目標「豊かな人間性をもつ生徒の育成」を具現化するために、生徒会活動や学校行事の充実が大きくかかわっています。特に生徒会活動は、感染症対策を行いながらの活動となりましたが、生徒の自治活動として、委員会活動などの日常活動や、学園祭に代表される行事をICT等を活用して工夫して行いました。学校生活に潤いと感動をもたらし、集団への所属感や、自己有用感を高める活動としてこれからも充実させていきたいと考えます。

一方、項目17「部活動が楽しく充実しているか」については、生徒、保護者のうち約10％が「③あまり思わない」と回答しています。部活動は、学級や学年の枠を超えて同好の児童生徒が自主的・自発的に集い、顧問の指導のもとで個人や集団としての目的や目標を持ち、切磋琢磨することを通じて、人間関係の大切さ、組織を機能させることの重要性を学ぶことができる教育活動であると考えます。今後、休日の部活動の段階的な地域移行も視野に、部活動のあり方について検討を進めていきます。

Ⅴ．家庭・地域・小中学校の連携について

昨年度まで、感染症対策のため、学園祭、合唱発表会、部活動大会、PTA総会などについて保護者への公開を見合わせていましたが、今年度は、PTA役員のご理解とご協力のもと、授業参観と学園祭について、分散による保護者公開を実現することができました。保護者に子どもたちの学校での活動の様子を実際にご覧いただき、肌で感じていただく機会は学校の教育活動をご理解いただくまたとない機会です。今後も感染症対策を行いながら、可能な限り学校教育活動を公開して行きたいと考えています。また、保護者には、学校HPや学年だより、生徒からの話などから学校の様子を推察していただきご理解とご協力をいただいていることに感謝いたします。

小中連携についても多くの面で感染症対策のために十分な実施ができませんでした。その中で、11月に小学校6年生児童を対象とした「東中オープンスクール」を実施し、2月には本校1年生による「小学校訪問」を行いました。今後も、小中のスムーズな接続と、9年間を見通した教育課程の実施に向けて、困難な状況ではありますが連携を推進していきたいと考えています。

東中学校では、令和5年度からコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入します。コミュニティ・スクールとは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。学校運営に地域の教育力を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。今年度は、その準備段階として「学校運営協議会設置推進委員会」を設置し、次年度からの取組の準備を行っています。地域と学校がお互いに「当事者」となり、共通の目標のもと、より良い学校づくりや地域活性化に向けて活動する予定です。

Ⅵ．感染症対策について

新型コロナウイルス感染症対策について、各家庭においては毎日健康チェックカードをご記入いただくことをはじめとして、感染防止に最大限の配慮をしていただいています。また、生徒本人や家族に体調不良者がいる場合は子供を休ませる、学校に素早くかつ丁寧な連絡、プライバシー保護への配慮、等々保護者には感染症対策に多大なご理解とご協力をいただいており、心より感謝いたします。

学校としても、朝の健康チェック、教室の換気、手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保、消毒など、できる限りの感染症対策を行っております。オミクロン株については、若者の重症化リスクは低い一方、高齢者のリスクは引き続き高く、感染の中心が高齢者施設、学校、保育所等の施設や家庭内感染へと変わってきているといわれています。まだ未知の部分が多い感染症ですが、最新の知見をもとに、感染症対策と学びを止めない工夫について油断することなく取り組んでいきます。

４．学校関係者評価

・全体として①そう思う、②どちらかというとそう思う、が多く、学校経営全般について成果が上がっていると感じます。
・大きな課題はなく、充実した学校教育が行われていると思います。
・教師、生徒の満足度が高い反面、保護者のポイントがやや低いと感じます。中学生くらいの年齢の子は、学校での出来事に限らず、親にいろいろな話をしなくなる傾向があるので、保護者は学校生活のことや学校での諸活動について、理解が十分ではないのではないかと思います。
・保護者のポイントがやや低い原因としては、コロナ禍であり、保護者が子どもの学校生活の様子を見る機会が減っていることもあると思います。今年度は授業参観や学園祭の保護者参観を行ったとのことなので、今後も感染症対策を行いながら学校の様子を保護者に公開していくことが大切だと思います。
・授業参観の在り方についてですが、忙しい親のために、「学校開放日」を1週間程度設定し、その期間なら保護者の都合がつく日にいつでも授業を参観できるようにするとよいのではないかと思います。
・「生徒の力を伸ばすために試行錯誤の機会を与え、自力でやらせることが必要」との教師の意見がありますが、全くその通りだと思います。子供に生きる力をつけるために、今後も高い理想をもって指導に当たってください。
・教師間の報告・連絡・相談を大切にしてください。教師が一体となって生徒の指導にあたることを今後も継続してください。
・自宅周辺の登下校する生徒の様子は、交通ルールをよく遵守し、挨拶などのマナーも大変良い生徒が多いです。先生方の指導が徹底しているのではないかと思います。
・ヘルメットの指導もよく行き届いていて、安全に気をつけながら自転車による登下校を行っていてよいと思います。
・教師の下校指導の様子などを保護者は知らないのではないかと思います。先生方も非常によく取り組んでいますので、保護者にわかってもらえるよう情報を伝えることが必要だと思います。
・登下校の交通指導については、自治会や安協など、地域の力を活用することができると思います。学校運営協議会で取り組むことも考えられますので、協力できることがあれば知らせてください。
・先生の指導が生徒に浸透していると思います。それは、生徒が教師を認めているからだと思います。相互の信頼関係のもと、質の高い学校教育が行われています。今後も継続してください。